

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	162	1年	後期	臨床検査学科	必修	食と栄養（共通） Food and Nutrition	30	1
担当教員								
田中 洋子*								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
生命維持における栄養の意義、栄養素や食品の栄養的特徴、さらにライフサイクルと食の特徴、生活習慣病と食、疾病と食について学ぶことを通して、食生活と健康との関わりを理解し、健康で豊かな生活を支援するための基礎的知識を修得することを目的とする。								
到達目標（授業目標）								
食生活と栄養が人間の成長や健康にいかに関わっているか理解することを目標とする。								
1. 五大栄養素が理解できる								
2. 食生活と健康の関わりが理解できる								
3. 疾病と食の関係が理解できる								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	栄養とは：栄養と栄養素、栄養素の分類							
2回	食品成分：食品成分とエネルギー							
3回	食品の分類と食品群：六つの基礎食品、三色食品群、日本食品標準成分表、食事バランスガイド							
4回	食事摂取基準：日本人の食事摂取基準（2020年度版）							

